

2022年(令和4年)度 事業報告書

新型コロナウイルス感染拡大により、世界大会などが中止・延期となりましたが、感染防止対策を徹底し、2022年度の事業を以下の通り実施しました。

評議員会・理事会

定時評議員会

3月13日(日)午後1時～ ホテル日航

議長に立住雅志評議員を選出し ①2021年度事業報告。②2021年度収支決算報告。
③2021年度業務報告。④2021年度監査報告。⑤理事の増員(小島俊郎理事待遇を選任)。
の5議案を承認可決。

報告事項は賛助会制度。内閣府立入検査。故渡邊滉最高顧問・偲ぶ会について。

稟議書回付

1、3月23日付稟議

① 2021年度 収支決算報告。の1議案を承認する20名で可決。

理事会

第1回 2月27日(日)午後1時～ 連盟本部会議室

①2021年度事業報告。②2021年度収支決算報告。③2021年度業務報告(惣田会長・工藤副会長・堀内副会長)。④2021年度監査報告。⑤第52回日本少年野球春季全国大会。⑥賛助会制度。⑦2022年度海外交流試合。⑧2022年度定時評議員会議案。の8議案を承認可決。

報告事項は、内閣府立入検査。故渡邊滉最高顧問「偲ぶ会」。新規加盟チーム。ハンドブック改訂。指定業者最新状況。審判用サングラス。

第2回(定例)3月13日(日)午後2時20分～ ホテル日航

①理事補充(小島俊郎理事待遇)、役職。②第52回日本少年野球春季全国大会。③第22回鶴岡一人記念大会。④故渡邊滉最高顧問を偲ぶ会開催。⑤U-12ワールドカップ。の5議案を承認可決。報告事項は、第16回ジャイアンツカップ。懲戒委員会処分。新規加盟申請。2022年度「日本少年野球連盟の手引き-役員の一部変更」。

稟議書回付

1、3月3日付稟議

① 理事増員。の1議案を承認する19名で可決。

2、3月23日付稟議

①2021年度 収支決算報告。の1議案を承認する20名で可決。

3、7月12日付稟議

① 野垣公認会計士との業務委嘱。の1議案を承認する20名で可決。

第3回 8月1日(月)午後1時～ 連盟本部会議室

① 故渡邊滉最高顧問・偲ぶ会。②2022年度上半期決算。③ 第52回日本少年野球春季全国大会

決算。④リポビタンカップ第53回日本少年野球選手権大会。⑤日本生命カップ第22回鶴岡一人記念大会。⑥賛助会。⑦指導者・審判員ハンドブック改正。⑧2022年度上半期業務報告。以上、8議案を承認可決。その他報告事項は、顧問会計士契約・稟議書回答結果。第16回ジャイアンツカップ。U-12、U-15W杯。第8回全国女子中学生硬式野球選手権大会。未来へ活性化プロジェクト。第19回日本少年野球沖縄大会補助金申請。各ブロック会計用PC計50台購入。2022年度上半期新規加盟チーム。2022年度上半期新規参入指定業者。

第4回(定例)12月11日(日)午後1時 ホテル日航大阪

④2023年度予算案。①リポビタンカップ第53回日本少年野球選手権大会決算。②日本生命カップ第22回鶴岡一人記念大会決算。③2023年度事業計画案。⑤第53回日本少年野球春季全国大会。⑥賛助会。⑦代表理事選任・役員改選。⑧2023、2024年度・新支部長。⑨埼玉県支部分割。⑩広報・IT委員会分化。⑪指導者ライセンス制度導入。⑫連盟主催大会・地方大会への他リーグチーム招聘。⑬没収試合規定の取り扱い。以上、13議案を承認可決。その他報告事項は、2022年度海外派遣団総括。2022・2023年度連盟Tシャツ。2022年度下半期新規加盟チーム。新規指定業者。

稟議書回付

4、12月15日付稟議

① 第22回鶴岡一人記念大会決算書に関する件。の1議案を承認する20名で可決。

全国ブロック長会

原則として毎月開催

連盟本部の事業計画、予算案の審議、国際親善大会の選手選考。また各ブロック、支部の声を広く反映すると共に、直面するあらゆる問題点を審議検討し、理事会に具申する。

2022年度は、2月19日(土)、3月12日(土)、臨時3月26日(日)、4月16日(土)、5月28日(土)、6月11日(土)、7月9日(土)、9月3日(土)、10月1日(土)、11月19日(土)、12月10日(土)の計11回開催された。

賛助会制度

公益財団法人になったのを契機に、選手(保護者)の費用負担軽減の一助となるよう「賛助会制度」を発足させ、ボーイズOB、および関係者のご協力で、選手の健全育成を目指す。

渡邊滉最高顧問偲ぶ会

2021年6月にご逝去された、渡邊滉最高顧問の功績を称え「偲ぶ会」を一周忌にあたる2022年6月12日にホテル日航大阪で執り行った。1989年に初代名誉会長に就任され、2000年に会長、2011年名誉会長、2020年最高顧問を歴任。「野球をするならボーイズリーグ」を提唱され、様々

な改革に取り組み、現在のブロック制を導入。バウンダリー制の廃止や女子選手の登録、他リーグのチームとの交流戦を認めるなどボーイズリーグの発展に大きく貢献された。

また「優秀選手表彰制度」を設け、ブロックから推薦された野球、学業、生活態度のバランスのとれた選手を、自らの「指定賛助金」より表彰された。会場にはボーイズリーグ関係者ら約300人が参列し、思い出のトロフィーなどの品々や写真が展示された場所に立ち止まり、在りし日を忍んだ。

本部主催講習会関係

1. 全国審判講習会

日 時：2月12（土）、13日（日）

場 所：大阪シティ信用金庫スタジアム（舞洲球場）

内 容：・全1級参加の研修会と位置づけ「基本の完全理解と徹底」。

- ・2022年1級ライセンスの更新検定及び2021年1級ライセンス検定再試験。
- ・公認野球規則の改定等の周知。

各ブロックより39名と役員・指導員12名が参加。

3. ブロック審判講習会

内 容：各ブロックで日程、場所などを設定し開催された。全国審判講習会に参加した審判員と、ブロックのBL-1級指導審判員等ベテラン審判員が協力し、BL-1級審判員のライセンス取得と、支部審判員らの技術の向上、ボーイズの特別規則ルールへの周知を図った。

4. ブロック指導者講習会

日本中学硬式野球協議会・（公財）日本野球連盟主催の指導者講習会
ボーイズ、シニア、ヤング各3リーグ指導者のレベルアップをはかるのが目的。
受講した指導者には、日本中学硬式野球協議会による修了書を配布。

① 関西地区中学野球指導者講習会

日 時：1月30日（日）（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

場 所：堺市立 美原文化会館

内 容：コロナ禍のため会場での講習会は中止。各支部で独自に開催。

4月24日（滋賀県）9月25日（京都府）5月15日（大阪北）5月28日（大阪中央）
4月10日（大阪南）4月24日（大阪阪南）4月30日（兵庫県）5月22日（奈良県）
4月17日（和歌山県）。 合計149名が受講した。

② 中四国ブロック指導者講習会

内 容：コロナ禍のため、会場での講習会は中止。各支部、チーム単位でJABAの指定VTR（YouTube）をもとに視聴した。

岡山県支部（38名）、広島県支部（28名）、山陰支部（18名）、愛媛県支部（26名）、合計110名が受講した。

③ 東日本ブロック指導者講習会

日 時：1月11日(火)、2月14日(月)

場 所：ZOOM、YouTube を活用したオンライン講習会

内 容：メインテーマ「ケガをしないさせない」

第1部：未来へ活性化PR「今までとは同じでは変わらない」

1月11日(火)

第2部：講演「障害予防！将来ある選手たちのために」

講師 古島 弘三（慶友整形外科病院スポーツ医療センター長）

第3部：講演「スポーツとコンタクトレンズについて」

講師 メニコン 松田 講師

2月14日(水)

第2部：講演「何を食べれば良いかー必勝レシピ紹介」

講師 スポチューバーTV管理栄養士チーム

第3部：講演：「オルソケラトロジーについて」

講師：メニコン 野崎 講師

アンケート提出者：364名（1月11日）・379名（2月14日）

総視聴者数：644名（1月11日）・653名（2月14日）

④ 中日本ブロック指導者講習会

日 時：12月20日(火) 配信開始

場 所：各支部で個別視聴（※1/20）

内 容：2022年度指導者育成事業（オンライン研修）内容をインターネット配信。視聴後に受講者レポートを提出。参加人数約550名が受講予定。

⑤ 九州ブロック指導者講習会

内 容：コロナ禍のため、会場での講習会は中止。各支部の自主性に任せて、ビデオを配信して各自で視聴した。参加者：約100名。

本部主催全国大会

1. 第52回日本少年野球春季全国大会

抽 選 会：3月6日(日) テレビ会議アプリ ZOOM でオンライン形式

日 時：3月26日(土)～31日(木)

場 所：大田スタジアム他

開 会 式：新型コロナ感染症防止対策で、中学生の部が26日、小学生の部は27日、大田スタジアムで分散開催した。

内 容：小学生の部16チーム、中学生の部42チームの合計58チームが42支部の代表として出場。春の祭典「全国大会」の激戦を繰り広げた。大会の様子は、開・閉会式も含め、全ての試合は「YouTube」で動画配信され、大きな反響を得た。また、今大会より「大会MVP」を新設し、小・中学生の部で4強以上のチームから、顕著な活躍とマナー

を含めた模範となる選手を選び表彰した。

中学生の部は武蔵狭山ボーイズが、湘南ボーイズを 8-4 で破り、春夏通じて初の全国制覇を果たした。小学生の部は東京世田谷ボーイズが、稲沢中央ボーイズを 10-5 で破り、初優勝。

結 果：小学生の部

優 勝 東京世田谷ボーイズ (千葉・東京都東・東京都西支部)

準優勝 稲沢中央ボーイズ (愛知県中央・愛知県西支部)

グッドマナー賞：優 賞 愛知豊橋ボーイズ (愛知県東支部)

良 賞 相模ボーイズ (神奈川県支部)

中学生の部

優 勝 武蔵狭山ボーイズ (埼玉県支部)

準優勝 湘南ボーイズ (神奈川県支部)

グッドマナー賞：優 賞 大分明野ボーイズ (大分県支部)

良 賞 白山能美ボーイズ (北陸支部)

良 賞 紀州ボーイズ (和歌山県支部)

良 賞 八頭ボーイズ (山陰支部)

最優秀選手賞

小学生の部 戸倉 光揮君 (東京世田谷ボーイズ)

中学生の部 梅村 団君 (愛知尾州ボーイズ)

2. リポビタンカップ 第53回日本少年野球選手権大会

抽 選 会：7月16日(土) 大阪・読売テレビ内ホール。アスリートチャンネルでもライブ配信。

日 時：8月2日(火)～7日(日)

場 所：大阪シティ信用金庫スタジアム(舞洲球場) 他

開 会 式：3年ぶりに小・中合同で行われた。

内 容：小学生の部16チーム(関西ブロック推薦1チーム含)、中学生の部48チーム(中四国ブロック推薦1チーム含)の合計64チームが42支部の代表としてボーイズリーグ夏のNo.1をめざして熱戦を繰り広げた。小学生の部は、東京世田谷ボーイズが滋賀大津ボーイズを破り連覇。中学生の部も湘南ボーイズが愛知瀬戸ボーイズ5回コールドで破り連覇。小中ダブル連覇は第17・18回に優勝した大阪八尾ボーイズ・志村ボーイズ以来の35年ぶりとなった。今大会も開・閉会式および全ての試合が「YouTube」で動画配信された。

結 果：小学生の部

優 勝 東京世田谷ボーイズ (東京都東・東京都西支部)

準優勝 滋賀野洲ボーイズ (滋賀県・京都府・大阪阪南支部)

グッドマナー賞：優 賞 東海・春日井合同ボーイズ(愛知県中央・愛知県西)

良 賞 広島安佐ボーイズ (広島県支部)

岡崎葵ボーイズ (愛知県東支部)

中学生の部

優勝 湘南ボーイズ (神奈川県支部)
準優勝 愛知瀬戸ボーイズ (愛知県西支部)
グッドマナー賞：優賞 大淀ボーイズ (大阪北支部)
良賞 大津瀬田ボーイズ (滋賀県支部)
松戸中央ボーイズ (千葉県支部)

ボーイズリーガー賞

小学生の部 栗原 大駕君 (東京世田谷ボーイズ)
中学生の部 相澤 舷君 (湘南ボーイズ)

3. 日本生命カップ 第22回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会

日時：8月19日(金)、20日(土)

場所：広島県呉市・鶴岡一人記念球場他

特別協賛：ミズノ株式会社、大之木建設株式会社

内容：全国5ブロックで選抜した小・中の各6チーム(主催ブロック2チーム出場)と女子の部5チームの17チームが、新型コロナウイルス感染防止のため、3年ぶりに開催された大会でブロックの栄誉をかけて戦った。中学生の部、小学生の部、中学生女子の部とも、関西選抜が優勝し、3冠に輝いた。3部門独占Vは2018年第19回大会の中日本選抜以来、4年ぶり。

結果：小学生の部

優勝 関西選抜
準優勝 東日本選抜

中学生の部

優勝 関西選抜
準優勝 東日本選抜

女子の部

優勝 関西女子選抜
準優勝 中日本女子選抜

表彰選手 優秀選手賞

小学生の部 北田 蓮虎君 (大阪堀江ボーイズ)
清水 隼太郎君 (埼玉上尾ボーイズ)
中学生の部 佐井川 湧牙君 (和歌山日高ボーイズ)
原田 大聖君 (高崎ボーイズ)
女子の部 藤濱 優楽さん (湖北ボーイズ)
片 紅葉さん (愛知セントレアガールズ)

本部主催大会（ブロック主管大会）

1. 第25回日本少年野球関東ボーイズリーグ大会

日 時：4月10日（日）17日（日）24日（日）5月3日（火祝）4日（水祝）

場 所：本庄市ケイアイスタジアムほか

内 容：中学生の部 159 チーム、小学生の部 16 チームが参加して、東日本No.1 をかけて熱戦が繰り広げられた。

中学生の部は、京葉ボーイズが、太田スバルボーイズを8-2で破り3年ぶり2度目の優勝。小学生の部では、都筑中央ボーイズが、坂戸中央・埼玉川越合同ボーイズを10-3の4回コールドで破り、9年ぶり2度目の優勝。

結 果：小学生の部

優 勝 都筑中央ボーイズ (神奈川県支部)

準優勝 坂戸中央・埼玉川越ボーイズ (埼玉県支部)

中学生の部

優 勝 京葉ボーイズ (千葉県支部)

準優勝 太田スバルボーイズ (群馬県支部)

2. 第18回日本少年野球九州選抜大会

日 時：4月23日（土）、24日（日） (中学生の部)

6月18日（土）、19日（日） (小学生の部)

主 管：福岡県南支部 (中学生の部)

鹿児島県支部 (小学生の部)

場 所：雁ノ巣硬式第一球場他 (中学生の部)

指宿市営野球場他 (小学生の部)

内 容：九州ブロック9支部から予選を勝ち抜いた、中学生の部16チームが激闘を繰り広げた。決勝は大分明野ボーイズが、熊本中央ボーイズを7-4で破り、大会初優勝。

小学生の部は、九州ブロック内3支部に所属する全6チームが参加。薩摩南洲ボーイズが、上津役ボーイズを10-2で破り、3回目の優勝。

結 果：中学生の部

優 勝 大分明野ボーイズ (大分県支部)

準優勝 熊本中央ボーイズ (熊本県支部)

グッドマナー賞 須恵ボーイズ (福岡県南支部)

小学生の部

優 勝 薩摩南洲ボーイズ (鹿児島県支部)

準優勝 上津役ボーイズ (北九州支部)

グッドマナー賞 黄城ボーイズ (西九州支部)

3. 読売杯第 37 回日本少年野球中日本大会

日 時：4月30日(土)、5月1日(日)、3日(火・祝)、5日(木・祝)

場 所：四日市霞ヶ浦第三野球場他

内 容：中日本ブロックの各支部から勝ち上がった中学生の部 32 チーム、小学生の部 12 チーム参加し、熱戦を繰り広げた。小中ともに優勝チームは愛知県西支部から。愛知尾州ボーイズが、岐阜中濃ボーイズを破り連覇で4回目の優勝。小学生の部は稲沢中央ボーイズが、岡崎葵ボーイズを8-4で破り、3年ぶり2回目の優勝。

結 果：中学生の部

優 勝 愛知尾州ボーイズ (愛知県西支部)

準優勝 岐阜中濃ボーイズ (岐阜県支部)

小学生の部

優 勝 稲沢中央ボーイズ (愛知県西支部)

準優勝 岡崎葵ボーイズ (愛知県東支部)

MVP 岩田 知樹君 (愛知尾州ボーイズ)

4. 報知旗争奪第 14 回関西さわやか大会

日 時：5月21(土)～7月2日(土)

場 所：大阪シティ信用金庫スタジアム、住之江球場、寝屋川公園第一球場他

内 容：関西ブロック9支部の中学1年生王者を決める大会。121チーム(関西女子チーム含む)で争われた。

大阪柴島ボーイズが、5対1で明石ボーイズBとの一戦に逆転勝ちし、参加121チームの頂点に立ち、大会初優勝を飾った。

結 果：優 勝 大阪柴島ボーイズ (大阪北支部)

準優勝 明石ボーイズB (兵庫県支部)

5. 第 29 回日本少年野球中四国春季大会

日 時：5月14日(土)、15日(日)

場 所：浜山公園野球場他

内 容：中学生の部は、4支部から各4チームの計16チームが出場。東広島ボーイズが、倉敷ボーイズを11-3で破り、7年ぶり6度目の優勝を決め、中四国秋春制覇となった。小学生の部は、愛媛県支部2チームと広島県支部2チームの計4チームが出場し、今治中央ボーイズが、広島安佐9-2の5回コールドで制し初優勝。

結 果：小学生の部

優 勝 今治中央ボーイズ (愛媛県支部)

準優勝 広島安佐ボーイズ (広島県支部)

中学生の部

優 勝 東広島ボーイズ (広島県支部)

準優勝 倉敷ボーイズ

(岡山県支部)

6. 第47回日本少年野球関東大会

日時：8月11日(木)～14日(日)

場所：埼玉・本庄市ケイアイスタジアム他

内容：東日本ブロックの12支部から、小学生の部8チーム、中学生の部16チームが出場。
中学生の部は創部10年目の狭山西武ボーイズが、八千代ボーイズを破り初優勝。
小学生の部は埼玉県支部同志の決勝となり、創部11年目の埼玉川越ボーイズが、
埼玉上尾ボーイズを逆転で破り、初出場初優勝。埼玉勢が小・中ダブル制覇を達成した、

結果：小学生の部

優賞 埼玉川越ボーイズ (埼玉県支部)

準優勝 埼玉上尾ボーイズ (埼玉県支部)

中学生の部

優賞 狭山西武ボーイズ (埼玉県支部)

準優勝 八千代ボーイズ (千葉県支部)

7. 第1回日本少年野球北海道大会

日時：8月12日(金)、13日(土)、14日(日)

場所：札幌麻生球場ほか

内容：北海道支部4チーム、北海道支部以外4チームの中学生8チームによる第1回大会
がトーナメントで行われ、北の大地で選手たちがハツラツとしたプレーを見せた。
栃木県支部から参戦の県央宇都宮ボーイズが初代王者に輝いた。地元から出場の
札幌北広島ボーイズは惜しくも準優勝となった。

結果：優勝 県央宇都宮ボーイズ (栃木県支部)

準優勝 札幌北広島ボーイズ (北海道支部)

最優秀選手賞：斎藤 奨真君 (県央宇都宮ボーイズ)

優秀選手賞：白藤 亮汰君 (県央宇都宮ボーイズ)

〃：信平 恭吾君 (札幌北広島ボーイズ)

8. 第1回日本少年野球東北選抜大会

日時：8月11日(木)～14日(日)

場所：いわきグリーンスタジアムほか

内容：今年から新設され、東日本ブロック12支部から選抜された中学生16チームよる
トーナメントで行われた。栃木県支部から参戦の佐野ボーイズが、東京都西支部の
東村山中央ボーイズを破り、初代王者に輝いた。

結果：優勝 佐野ボーイズ (栃木県支部)

準優勝 東村山中央ボーイズ (東京都西支部)

最優秀選手賞 島田 凌成君 (佐野ボーイズ)

9. 中日スポーツ杯第17回中日本秋季大会

小学生の部

日時：10月2日(日)、8日(土)、9日(日)

場所：岡崎レッドダイヤモンドスタジアム他

内容：小学生の部14チームが出場。岡崎葵ボーイズが10対3の5回コールドゲームで、
稲沢中央ボーイズを破り、4年ぶり4回目の優勝を飾った。

結果：優勝 岡崎葵ボーイズ (愛知県東支部)
準優勝 稲沢中央ボーイズ (愛知県西支部)
最優秀選手賞 松原 翔太郎君 (岡崎葵ボーイズ)
優秀選手賞 秋田 隼人君 (岡崎葵ボーイズ)
旅田 大輝君 (稲沢中央ボーイズ)

中学生の部

日時：10月22日(土)、23日(日)、29日(土)

場所：長良川球場他

内容：中学生の部32チームが出場し、東海中央ボーイズが、決勝を含めて5試合のうち4
試合がコールド勝ちと圧倒的なチーム力で2回目の優勝を飾った。

結果：優勝 東海中央ボーイズ (愛知県中央支部)
準優勝 愛知尾州ボーイズ (愛知県西支部)
最優秀選手賞 荻田 翔惺君 (東海中央ボーイズ)
優秀選手賞 江坂 佳史君 (東海中央ボーイズ)
杉村 空飛君 (愛知尾州ボーイズ)
池戸 遥登君 (愛知尾州ボーイズ)

10. 第34回日本少年野球東日本選抜大会

日時：10月8日(土)、9日(日)、10日(月・祝)、16日(日)、11月23日(火・祝)

場所：郡山市ヨーク開成山スタジアム、岩井球場 他

内容：小学生の部8チーム、中学生の部32チームが出場。

小学生の部は、8月の選手権大会で3季連続全国制覇した東京世田谷ボーイズが2年
連続7度目の優勝。中学生の部は江戸崎ボーイズが、前年覇者の松戸中央ボーイズを
破って初優勝。東日本ブロック秋の王者に輝いた。

結果：小学生の部

優勝 東京世田谷ボーイズ (東京都西支部)
準優勝 流山ボーイズ (千葉県支部)

中学生の部

優勝 江戸崎ボーイズ (茨城県支部)
準優勝 松戸中央ボーイズ (長野県支部)

11. 第52回ゼット杯日本少年野球関西秋季大会

日時：10月15日(土)～11月3日(木祝)

場所：淡路佐野第一球場・大阪シティ信用金庫S・南港中央球場・くら寿司スタジアム堺

特別協賛：ゼット株式会社

内容：小学生の部 19 チーム、中学生の部 24 チームによる関西No.1を決める大会。

中学生の部は、滋賀県同士の対決となった。湖南ボーイズが大津瀬田ボーイズを1点差で下し、初めて秋の関西王者になった。小学生の部は、香芝ボーイズが滋賀大津ボーイズに勝利し、6年ぶりの優勝。中学生の部ベスト4の(湖南ボーイズ、大津瀬田ボーイズ、生駒ボーイズ、奈良ボーイズ)は甲子園球場で行われるシニア、ヤングの3リーグで争う「第18回タイガースカップ」へ、また小学生の部：大阪都島ボーイズと奈良葛城ボーイズは、ヤング、リトルとの「第19回NOMOCUP」への出場権を獲得した。また小学部ベスト4(香芝ボーイズ、滋賀大津ボーイズ、堺中央ボーイズ、大和ボーイズ)は、「オリックス・バファローズCUP争奪第9回関西小学生硬式野球選手権大会」に出場。

結果：小学生の部

優勝 香芝ボーイズ (奈良県支部)

準優勝 滋賀大津ボーイズ (滋賀県支部)

中学生の部

優勝 湖南ボーイズ (滋賀県支部)

準優勝 大津瀬田ボーイズ (兵庫県支部)

12. 第12回日本少年野球中四国秋季大会

日時：10月22日(土)、23日(日)

場所：岡山県・美作市総合運動公園野球場他

内容：各支部で予選を行い、小学生の部4チーム、中学生の部16チームが中四国秋季No.1をかけて戦った。

中学生の部は、岡山ボーイズが広島北ボーイズに9回タイブレークまでもつれた一戦に劇的なサヨナラ勝ち。小学生の部は、今治中央ボーイズが松山ボーイズを11安打の猛攻で乱打戦を押し切り、春に続き、中四国ブロックの頂点に立った。

結果：小学生の部

優勝：今治中央ボーイズ (愛媛県支部)

準優勝：松山ボーイズ (愛媛県支部)

中学生の部

優勝：岡山ボーイズ (岡山県支部)

準優勝：広島北ボーイズ (広島県支部)

13. 第38回日本少年野球九州大会

日 時：10月15日（土）、16日（日）、11月5日（土）、6日（日）

場 所：別大興産スタジアム他

内 容：小学生の部 5 チーム、中学生の部 16 チームが九州地区 NO.1 を目指し戦った、

小学生の部は西九州支部同士の決勝で黄城ボーイズが、諫早ボーイズを 7 対 0 の 4 回
コールドで破り初優勝。中学生の部も福岡県南支部同士の決勝で、糸島ボーイズが、筑
後ボーイズに 4 対 2 で勝ち 2 年連続 7 回目の九州王者に輝いた。

結 果：小学生の部

優 勝：黄城ボーイズ (西九州支部)

準優勝：諫早ボーイズ (西九州支部)

中学生の部

優 勝：糸島ボーイズ (福岡県南支部)

準優勝：筑後ボーイズ (福岡県南支部)

海外交流試合関係

1. 2022 世界少年野球大会

日 時：8月10日（水）～

場 所：日本・愛知県豊橋市

(新型コロナウイルス感染拡大状況により 2023 年に延期)

2. 2022 JUNIOR ALL JAPAN アメリカ遠征

日 時：8月予定

場 所：アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルス

(新型コロナウイルス感染拡大のため中止。)

他リーグとの交流大会

◆第 16 回全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ

日 時：8月15日（月）～20日（土）

場 所：東京ドーム、読売ジャイアンツ球場他

主 催：（公財）日本野球連盟、読売新聞社、読売巨人軍、日本テレビ放送網、報知新聞社

内 容：中学硬式野球主要 5 リーグでの全国 25 地区に分け行われる地区予選から勝ち上がった 32 チームが出場し、中学硬式野球の日本一を決定する大会。ボーイズリーグから 17 チームが出場。

結 果：優 勝 取手リトルシニア

準優勝 京葉ボーイズ (千葉県支部)

ブロック別 他リーグ対抗交流戦

1. 第10回DeNAベ이스ターズカップ ～2022神奈川県中学硬式野球選手権大会～

日時：7月2日（土）、3日（日）、18日（祝・月）

場所：横浜スタジアム

内容：神奈川県内の中学硬式野球ナンバーワンを決める大会。4リーグに加盟する約100チームの中から予選を勝ち抜いたチームが出場。今年は10回の記念大会として4リーグの代表12チームが出場。ボーイズ4・リトル5・ヤング2・ポニー1

結果：優勝 中本牧リトルシニア

準優勝 横浜泉中央ボーイズ（神奈川県支部）

2. 第13回少年硬式野球四国選手権大会

日時：4月2日（土）、3日（日）、4日（月）

場所：坊っちゃんスタジアム他

主催：NPO法人松球会、松山西ライオンズクラブ

内容：四国内の少年硬式野球リーグ中学生の部、ボーイズ（15）ヤング（8）リトルシニア（12）35チームが参加しての交流試合。（兼：ジャイアンツカップ四国地区予選）

結果：優勝 高松庵治ヤングストーンズ

3. 2022和歌山県中学硬式野球選手権大会

日時：4月29日（金祝）～5月7日（土）

場所：紀三井寺公園野球場他

主催：和歌山県中学硬式野球選手権大会実行委員会他

内容：ボーイズ10、シニア6、ヤング3の計19チームが参加。（兼ジャイアンツカップ奈良和歌山予選）

結果：優勝 和歌山ボーイズ（和歌山県支部）

準優勝 紀州ボーイズ（和歌山県支部）

4. 第8回全国女子中学生硬式野球選手権大会

日時：8月13日（土）～17日（水）

場所：横須賀スタジアム他

主催：一般社団法人全日本女子野球連盟

内容：各地区予選および規定により選出された18チームによるトーナメント方式で開催され、女子中学野球の日本一を決める大会。ボーイズから東日本、中日本、関西の3チームが参加。中日本女子選抜が3年ぶり2回目の優勝を決めた。

結果：優勝 中日本女子選抜（ボーイズ中日本ブロック）

準優勝 むさし野オールシャインズ

5. 2022ホークスカップ中学硬式野球大会

日時：8月16日（火）～18日（木）

場 所：P a y P a y ドーム他

主 催：N P O 法人ホークスジュニアアカデミー

内 容：九州、山口地区の 6 つの中学硬式野球クラブがリーグの垣根を越えて交流する場として、また同地区のクラブNO.1を決める。20 チームが参加（ボーイズからは 8 チームが参加）

結 果：優 勝 ヤング筑紫野ドリームズ
準優勝 県央宮崎ボーイズ (宮崎県支部)

6. 第 10 回中日ドラゴンズカップ 2022 中学硬式野球大会

日 時：8月9日(火)、19日(金)、20日(土)、26日(金)

場 所：バンテリンドームナゴヤ他

主 催：中日ドラゴンズ、中日新聞社、中日スポーツ、ナゴヤドーム

内 容：中日本の硬式野球 3 リーグ 20 チームの交流大会。ボーイズから 8 チーム参加。

結 果：優 勝 豊田リトルシニア
準優勝 愛知尾州ボーイズ (愛知県西支部)

7. CHIBA LOTTE MARINES CUP 2022 千葉県中学硬式野球大会

日 時：7月30日(土)～8月14日(日)

場 所：ZOZOマリンスタジアム他

主 催：千葉ロッテマリーンズ

内 容：千葉県内中学硬式団体に所属する 4 リーグ (ボーイズ、ヤング、リトルシニア、ポニー) の交流戦に 55 チームが参加。ボーイズリーグからは 16 チームが出場。

結 果：優 勝 千葉西リトルシニア
準優勝 白井中央ボーイズ (千葉県支部)

8. 第 17 回オリックス・バファローズ CUP 2022 少年硬式野球大会

日 時：8月7日(日)～13日(土)

場 所：G7スタジアム神戸他

主 催：オリックス・バファローズ

内 容：ボーイズリーグ 6、リトルシニアリーグ 6、ヤングリーグ 6 の計 18 チーム。

結 果：優 勝 丹波ヤングベースボールクラブ

9. ライオンズカップ 第 11 回中学硬式野球選抜大会 スペシャルマッチ

日 時：7月25日(月)、26日(火)

場 所：ベルーナドーム

主 催：株式会社西武ライオンズ

内 容：埼玉県内 4 リーグの中学 3 年生を中心とした 15 チームとライオンズアカデミーによるスペシャルマッチ。優勝決定なしの交流試合を、2 日間で 8 試合行った。ボーイズ

から5チームが出場。

10. 2022 FIGHTERS BASEBALL CHAMPIONSHIP U-15

日 時:8月2日(火)

場 所:札幌ドーム他

主 催:株式会社北海道日本ハムファイターズ他

内 容:ボーイズリーグ、リトルシニア、ポニーリーグが団体の垣根を越えて北海道47チームのNo.1を決定する大会。札幌豊平ボーイズが念願の初優勝。

結 果:優 勝 札幌豊平ボーイズ (北海道支部)

準優勝 北斗ポニーベースボールクラブ

11. 奈良県知事杯第13回中学生硬式野球選手権大会

日 時:8月27日(土)~9月4日(日)

場 所:佐藤薬品スタジアム他

主 催:(公財)日本野球連盟・奈良県野球連盟

内 容:奈良県下の中学生硬式野球(3リーグ)の交流を図り、技術の向上、健全な心身の育成と中学硬式野球の発展を目的とした大会、ボーイズリーグから12チームが出場した。

結 果:優 勝 奈良西リトルシニア

準優勝 奈良ボーイズ (奈良県支部)

12. 2022年第26回上毛新聞社中学生硬式野球大会

日 時:9月17日(土)、19日(祝・月)、25日(日)

場 所:上毛新聞敷島球場、高崎市南部野球場、富博記念館球場他

主 催:(株)上毛新聞社

内 容:ボーイズ28、リトルシニア4、ポニー1チーム合計33チーム参加。

結 果:優 賞 大田原ボーイズ (栃木県支部)

準優勝 館林ボーイズ (群馬県支部)

13. オリックス・バファローズCUP争奪 第9回関西小学生硬式野球選手権大会

日 時:12月3日(土)、4日(日) (関西秋季ベスト4)

場 所:大阪シティ信用金庫スタジアム、花園セントラルスタジアム他

主 催:ボーイズリーグ、リトルリーグ、ヤングリーグ

内 容:ボーイズ4、リトル4、ヤング4の小学生12チームの交流戦。ボーイズから、香芝ボーイズ、滋賀大津ボーイズ、堺中央ボーイズ、大和ボーイズが出場。滋賀大津ボーイズが優勝。

結 果:優 勝 滋賀大津ボーイズ (滋賀県支部)

準優勝 ヤング兵庫

14. 第18回タイガースカップ～2022 中学生硬式野球・関西No.1 決定戦～

日時：11月27日（日）、12月3日（土）、4日（日）（関西秋季ベスト4）

主催：（公財）日本野球連盟、阪神タイガース、サンケイスポーツ、日刊スポーツ新聞西日本、
報知新聞社、読売テレビ

場所：阪神甲子園球場他

内容：ボーイズ4、リトルシニア4、ヤング3、前年度優勝リーグ枠1チームの3リーグ代表
による中学2年生以下12チームによるトーナメント方式。

ボーイズからは湖南ボーイズ、大津瀬田ボーイズ、生駒ボーイズ、奈良ボーイズ
の4チームが出場した。

結果：優勝 ヤング湊クラブ

15. 野村謙二郎CUP第14回西日本中学野球大会

日時：11月26日（土）、27日（日）、12月3日（土）

場所：マツダ Zoom-Zoomスタジアム他

内容：ボーイズリーグ11、リトルシニア11、ヤング10、計32チームによる交流戦。

結果：優勝 ヤングUG広島

準優勝 倉吉ボーイズ（山陰支部）

16. 兵庫県オープン オリックス・バファローズ杯 第10回兵庫県中学生硬式野球大会

日時：11月19日（土）、20日（土）、26日（土）

場所：淡路佐野運動公園野球場他

主催：兵庫県中学生硬式野球協会、特別後援：オリックスバファローズ

内容：ボーイズ11、ヤング11、リトルシニア10の3リーグ32チームによる交流戦

結果：優勝 関メディベースボール学院ヤング

準優勝 兵庫西宮ボーイズ（兵庫県支部）

17. 第20回NOMO CUP

日時：12月4日（日）、5日（月）、10日（土）

場所：兵庫県 こうのとりスタジアム

主催：特定非営利活動法人 NOMOベースボールクラブ、豊岡市、豊岡市教育委員会他

内容：ボーイズ、リトル、ヤング各2チーム計6チームの小学生硬式野球の交流戦。

大阪都島ボーイズと奈良葛城ボーイズが出場した。ボーイズ同士の決勝戦となり、

大阪都島ボーイズが奈良葛城ボーイズを破り、NOMOカップをつかみ取った。

結果：優勝 大阪都島ボーイズ（大阪北支部）

準優勝 奈良葛城ボーイズ（奈良県支部）

18. 岡山県知事杯 2022 岡山県中学硬式野球選手権大会

日 時：11月26日（土）、27日（日）、12月3日（土）
 場 所：倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム他
 主 催：岡山県中学硬式野球連絡協議会、ボーイズリーグ、シニアリーグ、ヤングリーグ
 ボーイズ12、シニア4、ヤング9の25チームが出場。
 結 果：優 勝 ヤンキース岡山
 準優勝 岡山ボーイズ（岡山県支部）

その他の事業

1. 全国一斉清掃（ボランティア）活動

内 容：2010年に連盟創立40周年記念事業の一環として始まり、今年で12回目を迎えた「全国一斉ボランティア～ボーイズリーグ社会貢献の日」活動は総勢約25,380名が参加して、12月の土・日を中心に全国各地で行われた。選手、指導者、保護者らが力を合わせて、日頃使用している練習グラウンド周辺や、地域の公園、施設、河川敷などの清掃活動を一生懸命行った。

◎ブロック別参加者数

| | 小学生の部 | 中学生の部 |
|---------|--------|---------|
| 東日本ブロック | 757 | 6,975 |
| 中日本ブロック | 345 | 5,356 |
| 関西ブロック | 884 | 5,572 |
| 中四国ブロック | 326 | 1,844 |
| 九州ブロック | 119 | 3,198 |
| 合 計 | 2,431名 | 22,945名 |

○2023年1月23日現在 届け出人数

2. ボーイズリーグニュース制作

内 容：毎月1回発行し、マスコミなどへの無料配布も含めて約22,000部を印刷。各大会の試合結果や各支部の活動ぶりを報道することで連盟全体の連帯感を深める狙いと、連盟のページでは連盟からの重要伝達事項を毎月掲載し「公益財団法人日本少年野球連盟」の組織強化を図ると共にイメージアップ向上にも役立てる。

3. 連盟の手引制作

内 容：定款、定款施行細則、各規約、役員名、支部長名、全チーム紹介などを網羅した「連盟の手引き」4000冊を4月に発行。マスコミはじめ関係者、各支部、チームなどに配布し、組織強化を図るのが狙い。また6月に連盟のPR誌を20,000部製作し、各支部に選手募集用に配布した。

4. 連盟用ポロシャツなど用品の販売

内 容：連盟用ポロシャツ、連盟帽子、審判帽子、役員・選手・審判用ワッペン等を作成し、販売。

以上